

オリエンテーリングはやはり楽しい

駒ヶ根高原にクラブカップが帰ってきました。昨年の夏、世界選手権に来日した多くの外国選手と共に競い合い、楽しむ事ができた愛知での熱狂が、昨日のように思い出されます。多くの方々に楽しんで頂き、また目標にして頂いてきた大会も、今年から心機一転、オリエンテーリングの楽しさを再発見するべく、聖地とも言われるこの地に帰ってきました。

日本オリエンテーリング界は、世界選手権の開催という大きな山を越え、さらなる発展への道を歩み出しました。私どもジェネシスマッピングもオリエンティアの皆様と共に、もっと楽しい時間を過ごすべく新たな一歩を歩みはじめました。優勝目指すクラブの方々も、個人でゆっくり楽しみたい方々も、今大会では様々な形のオリエンテーリングを、そして大会の全てを心から楽しんでもらうために新企画をご用意しました。優勝カップも新しく用意して皆様の挑戦をお待ちしています。

クラブカップリレーの当初からの理念、「帰ってくる場所がここにある！」という原点に帰ることで、これまで以上に仲間との触れ合い、そして、何よりもオリエンテーリングを楽しんでもらいたいと考えています。

今回はインカレの併催ということで、多くの若者が駒ヶ根高原に集います。その一方でインカレに限らず、オリエンテーリング大会への参加者の減少は続いています。こんなに楽しいんだから是非帰ってきて欲しい。そして、新たに入ってきて欲しい。この大会がその場所であり続けるために、私どもはがんばり続けます。

ジェネシスマッピング 社員一同

も く じ

ご挨拶	2
3日間共通情報	
日程表	4
問合わせ一覧	4
大会役員	4
開場へのアクセス・広域図	5
駐車場・受付	6
昼食、入浴、傷害保険	7
駒ヶ根フリーパス、ストリーマ	8
競技中止について・気象情報	8
キッズO、e-card	8

16日(土)に関する情報

会場案内図、タイムテーブル	10
受付、当日参加、地図	10
スプリント競技関連情報	11
コース概要、テレイン概要	11
表彰、その他情報	12
インカレロングモデルイベント	12
スプリント競技スタートリスト	13

17日(日)に関する情報

会場案内図、タイムテーブル	15
インカレロング関連情報	
立入制限区域、裁定委員、クラス、開会式など	16
スタート、競技関連情報	17
コースの概要	18
テレインの概要、地図、フィニッシュ	19
表彰式、閉会式、調査依頼、提訴、その他	20
シード選手、チームオフィシャルに冠すること	20
インカレロング選手権スタートリスト	22
インカレロング学生併設スタートリスト	23
インカレロング一般併設スタートリスト	26
インカレロング歴代入賞者	28

トレイルO関連情報	
受付、競技、表彰など	32
地図、テレイン、コースについて	32
トレイルO参加者リスト	33
駒ヶ根高原大会関連情報	
受付、クラス、競技方法	34
表彰、地図、クイズの例	35
駒ヶ根高原大会参加者リスト	35

18日(月・祭)に関する情報

会場案内図、タイムテーブル、受付	36
ナンバーカード、当日のメンバー変更	37
オーダー表の提出	37
地図、テレイン、競技の流れなど	38
バタフライループ説明、表彰	40
売店、その他のサービス	42
レギュレーション	42
オーダー表書式	44
走区概要	45
クラブカップエントリーリスト	46
ベテランカップエントリーリスト	50
12回、13回クラブカップリレーの成績	51
広告一覧	67
クラブカップリレー過去のデータ	68

WOC2006レポート	73
-------------	----

注：予定しておりました、「世界大会報告会&チャリティオークション」は都合により中止致します。同時開催のバーベキューパーティも中止と致します。お申し込み頂いた皆様には大変ご迷惑とおかけして申しわけありません。払い込み頂いたパーティ参加費は、当日受付にて返金致します。

駒ヶ根へようこそ

第14回クラブカップリレー大会並びに日本学生オリエンテーリング選手権大会の開催おめでとうございます。

遡ること二十数年前の1984年、学生の皆さん達の、本格的なオリエンテーリングの大会を駒ヶ根高原で実施したい、との思いを受け、地元としてお手伝いさせていただいたことがきっかけとなり、駒ヶ根市におけるオリエンテーリングの歴史も始まりました。

常設コースも整備され、また何回かの大会も開催され、今日に至っておりますが、その間に、日本におけるオリエンテーリングの芽は着実に花となり結実し、またそこに携わった皆さんも日本のオリエンテーリングの歴史を自ら紡ぎながら大きく育て、再び駒ヶ根に戻ってきていただきました。地元を代表し、「お帰りなさい」の言葉とともに、心から歓迎申し上げます。

中央アルプスと、その麓に広がる駒ヶ根高原の自然は、私たち駒ヶ根市民に与えられた天与の財産であり、私たちはこの財産を守り育て、後世へ伝え、そしてより多くの皆様にこの自然の素晴らしさを心ゆくまで味わっていただけるよう、ありのままの姿で提供していくことを喜びとしております。どうかこの3日間で、駒ヶ根の豊かな大地と、深い緑と、そして澄んだ空気を、存分にお楽しみください。

この大会が大成功のうちに終わられ、また来年も新たな趣向を凝らした大会がここ駒ヶ根で開催されますようご期待申し上げ、歓迎のごあいさつとさせていただきます。

皆さん頑張ってください。

駒ヶ根市長 中原 正純



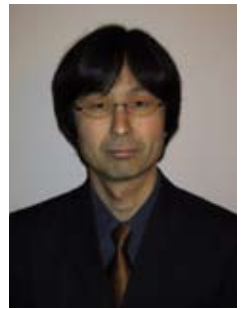
ご挨拶

連日の暑さに走る気力を奪われそうになりますが、選手の皆さん、準備の進み具合はいかがでしょう？ インカレロングが秋の開催となって3回目となりますが、過去2回より2ヶ月近く早くなったおかげで秋のシーズン初戦がインカレロングという人も多く、各大学とも夏合宿には力が入ったのではないのでしょうか。

前々回の東日本大会に続き、今回はクラブカップリレー大会とのタイアップで、3日間大会のイベントの一つとなっています。クラブカップは、ご承知のとおり今や日本最大級の動員数を誇り、インカレとはひと味違う熱気や雰囲気味わえる貴重な大会です。日本のオリエンテーリング界を代表するこの特徴的な二つの大会がコラボレートすることの意味は大きいと思います。社会人となって、インカレだけでなくオリエンテーリング自体から足が遠のいてしまう人が多いのが現状です。久しぶりに旧友の顔を見にクラブカップに出よう、そして、ついでだから久しぶりに学生を、母校を応援しようという人が少しでも増えてくれたら、今回の試みは成功だったと言えるのではないのでしょうか。最近では、どの大会も以前のように参加者を確保することが難しくなってきました。また、大学クラブでは、部員数を確保すること自体が難しくなっているという厳しい現実があります。お互いが助け合うことで、少しでも状況の悪化を食い止め、上昇に転じることができればと、切に願う次第です。暗い話になってしまいましたが、ともあれ、参加者の皆さんには、高原での3日間を大いに楽しんでもらいたいと思います。都会に住む者としては、日頃の喧噪と残暑を逃れて、爽やかな初秋の駒ヶ根が楽しめるよう、すばらしい天気となるよう祈りたいと思います。

最後になりましたが、仕事や育児、勉学の忙しい合間を縫って準備を進めていただいた実行委員会とその関係者の皆さん、本当にご苦労様でした。そして地元関係者の皆様には、様々な面でご協力をいただき本当にありがとうございました。主催者の日本学連を代表して、厚く御礼申し上げます。

日本学生オリエンテーリング連盟
会長 河合 利幸



ご挨拶

8月も終わりに近づいたとはいえ、まだまだ厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、いよいよ2006年度インカレロングが近づいてきました。今年



は、4年ぶりにインカレが長野に帰ってきます。今年は例年と異なり、9月開催となっておりますが、その頃にはもう駒ヶ根高原はすっかり秋めいているのではないかと思います。

今回のインカレも、インカレ実行委員会により運営されます。お忙しい中、我々のためにインカレの運営に尽力されています。この実行委員会の皆様をはじめとして、オフィシャル旅行代理店の日本旅行様、我々を温かく見守ってくださる近隣住民の皆様など、多くの方々の支えのもと、インカレロング駒ヶ根は開催されるのです。感謝の気持ちを持ってこの大会に臨みましょう。

今回のインカレはロングディスタンス競技だけではありません。トレイルO競技も併設開催されます。当日申し込みも可能だそうなので、まだ申し込んでない方も是非参加してみたいかがでしょうか。さらに、インカレ前日の16日には駒ヶ根高原スプリント大会が、インカレの明くる日、18日にはクラブカップ7人リレー大会が開催されます。この3日間はインカレの魅力にどっぷり浸かってみてはどうでしょう。

インカレは日本学連最大のイベントのひとつです。そして、いつもの大会や練習会とは一味違った雰囲気を持っています。1回生の皆さんは、その雰囲気を大いに満喫していただければと思います。もちろん、2回生以上の皆さんも。オリエンテーリングを思いっきり楽しむこと、インカレを満喫すること。これが、加盟員減少に苦しむ日本学連への処方箋になってくれるのではないかと、私は少し期待しております。

日本学生オリエンテーリング連盟
幹事長 市川 雄一郎

ご挨拶

いよいよ2006年度の学生オリエンテーリング選手権大会ロングディスタンス競技部門のカウントダウンです。学生の皆さん、準備はできていますか？



20年ぶりに学生選手権大会の熱狂が駒ヶ根高原に戻ってきました。1986年3月の学生選手権男子リレーで名古屋大学が劇的な優勝を遂げ、初めて優勝旗が箱根の関を越えました。

あれから20年、駒ヶ根高原の森は当時と変わらぬ美しさを保っています。昔も今も変わらないのが、オリエンテーリング競技にかける学生の皆さんの情熱です。そんな皆様の情熱と期待にしっかりと応えることができるコースと地図を今回用意しました。皆さんの挑戦を今や遅しと待っています。

この駒ヶ根高原ではどんなドラマが展開するのでしょうか。笑顔の結末？それとも涙の結末でしょうか。どんな結末でもひとつひとつ皆さんの心に刻み込まれ、笑顔も涙も全て未来へと繋がってゆくことでしょう。

私は、この大会期間中を通じた競い合いや出会いを通じて、多くの友情が生まれることを望んでいます。ここで得たエネルギーを原動力にして、今後のオリエンテーリング活動の糧としていただければこれに勝る喜びはありません。

今回は学生選手権とクラブカップリレー大会のコラボレーションを行います。ジェネシス社の主催するクラブカップリレー大会は日本一の規模を誇るリレー大会です。この大会には多くの地域クラブや同窓会的クラブが参加します。このような多くの方に学生の走る姿を見ていただき、より身近に学生選手権を感じていただきたいです。それと同時にオリエンテーリングにいろんな関わり方をしている社会人の方々を学生のみなさんに見ていただきたいと思っています。

私たちが愛するオリエンテーリング、そして森。

最後になりましたが、こんなに素敵な競技環境を提供して下さる地元・駒ヶ根市の皆様のご協力に深い感謝を申し上げます。ありがとうございました。

インカレロング2006実行委員長 木村 佳司

3日間共通情報

日程表

9月16日(土) スプリント

- 13:00～15:00 受付
14:00～15:30 一般クラススタート
15:30～16:00 Eクラススタート
16:30～17:00 表彰式

9月17日(日) 駒ヶ根高原大会 インカレロング トレイル0

- 9:00～9:20 インカレロング開会式
9:30～12:00 インカレロング併設クラス当日受付
9:00～14:30 駒ヶ根高原大会受付
9:30～15:00 駒ヶ根高原大会スタート
9:30～15:00 トレイル0 受付
10:00～15:30 トレイル0 スタート
10:00～12:30 インカレロングスタート
～13:30 インカレチャレンジスタート
14:00～ インカレロング表彰式
～17:00 クラブカップオーダー票提出締切(紙)
～20:00 クラブカップオーダー票提出締切(メール)

9月18日(月・祭) クラブカップリレー

- 7:30～8:15 受付
8:30 クラブカップクラススタート
8:40 ベテランカップクラススタート
14:30～ トレイル0 表彰式
14:50～ クラブカップリレー表彰式

問い合わせ一覧

◆大会公式ウェブサイト

<http://www.orienteering.com/~clubcup/>

◆3日間全般(平日10:00～17:30、9月14日まで)

ジェネシスマッピング 担当 和泉祐
TEL 03-5225-0951 FAX 03-5225-0941
e-mail clubcup@genesysmap.co.jp

◆3日間全般(9月15日～大会終了まで)

ジェネシスマッピング 担当 和泉祐
TEL:090-1057-7130 email:clubcup@genesysmap.co.jp

◆インカレ全般について

大会実行委員長 木村佳司
TEL:090-3333-0893 e-mail:kimura@orienteering.com

◆トレイル0全般について

山口尚宏
TEL:090-1994-3505 e-mail:y-n@yan.ne.jp

◆宿泊、交通、シャトルバス、弁当について

日本旅行 東京南支店 担当 正能
TEL:090-1994-3505 e-mail:orienteering@nta.co.jp

◆駒ヶ根市の観光について

駒ヶ根市観光協会
TEL:026-234-7165 <http://www.kankou-komagane.ne.jp>

駒ヶ根高原大会 運営スタッフ

◆ジェネシスマッピング関係者

上田泰正、山川克則(コース設定)、和泉祐、
山川順子、上田桂子、上田誠之、山川郁加、山川莉加、
山川鈴加、上田愛沙、上田ちよこ

◆長野県オリエンテーリング協会

木村佳司、丸山茂樹、高橋美和、金田哲生、立花聡、
鳥川秀司、市川裕子、小林隆昭、石川昌、峯村綾香、元
木悟、元木友子、木村初美、木村友佳

◆駒ヶ根市のみなさん

インカレロング 2006 役員

◆大会実行委員長

木村佳司

◆競技責任者

丸山茂樹

◆コース設定者

山川克則

◆イベントアドバイザー

西脇正展

◆裁定委員

大会当日公式掲示板で発表します。

◆運営役員

E S 関東クラブ

宇津明範、大久保裕介、大滝民己、岡英樹、加藤弘之、
小暮喜代志、小林岳人、齋藤宏顕、堺信夫、新宅有太、
杉本光正、土井聡、長谷川恵子、広江淳良、藤原成文、
増山歩、宮川早穂、宮川祐子、柳澤貴、山本真司、
渡辺円香

的場洋輔、立花聡

日本学連事業部

トレイル0 運営スタッフ

山口尚宏、内藤愉考、松橋徳敏、伴毅、堀田遼、
宮崎遼、山田晋太郎、鈴木周

◆協力団体

日本トレイルオリエンテーリング研究会
愛知オリエンテーリングクラブ

スプリント・クラブカップリレー運営スタッフ

◆ジェネシスマッピング関係者

上田泰正、山川克則(コース設定)、和泉祐、
山川順子、上田桂子、上田誠之、山川郁加、山川莉加、
山川鈴加、上田愛沙、上田ちよこ

◆長野県オリエンテーリング協会

木村佳司、丸山茂樹、高橋美和、金田哲生、鳥川秀司、
市川裕子、小林隆昭、石川昌、峯村綾香、木村初美、
木村友佳

◆当日有志の皆様

会場へのアクセス・使用にあたっての注意

公共交通機関から会場までのアクセス

(1) JR 飯田線「駒ヶ根駅」から「駒ヶ根高原家族旅行村」(会場) までタクシー 6 km

※参考：こまちゃんバス (地域振興巡回バス)

駒ヶ根駅→こぶしの湯→駒ヶ根駅

9:50 → 10:06 → 10:30

12:45 → 13:12 → 13:25

15:10 → 15:26 → 15:50

こぶしの湯前が会場です。

(2) 中央自動車道路「駒ヶ根インター」バス停より「駒ヶ根高原家族旅行村」(会場) まで徒歩 3 km。

※参考：「駒ヶ根インター」バス停までの高速バス

「名鉄バスセンター」(名古屋) より高速バスにて 2 時間 30 分

「新宿高速バスセンター」(東京) より高速バスにて 3 時間 30 分

自家用車による会場までのアクセス

中央自動車道路「駒ヶ根インター」より 3 km。

下図を参照の上おいでください。

会場周辺の駐車場には限りがあります。次ページの駐車場案内を参照の上、正しく駐車願います。

また、環境への配慮、駐車スペースの有効活用のためにも、

できる限り、公共交通機関でおいでになるか、乗り合いで来場されることを希望します。

※本大会参加に伴う宿泊・輸送は参加者自身にて手配願います。

※本大会のオフィシャル旅行代理店「日本旅行」によるシャトルバス (予約制) は大会会場まで乗り入れます。

会場使用上の注意

青空会場です。各クラブで更衣のためのテント類をご用意下さい。本大会の会場ではペグを地中に打つことが可能です。

主催者では、女子更衣室として小さなテントを用意しますので、譲り合ってご使用下さい。このテント内に荷物を保管することはできません。

連休中ということで、一般の方の利用もかなりの数が見込まれます。各日の会場案内図で明示した、テント類設置可能エリア以外には、決して貼ることのないようご注意願います。

各クラブがテント類を張れるのは開場後昼間だけです。夜間のテントの設置は禁止します。



駐 車 場

オリエンテーリング大会参加者の自家用車駐車場は以下の通りです。(下図参照)

(1) 家族旅行村第二駐車場(会場横)

99台収容可能。アスファルト舗装。

ここは大会役員とチームオフィシャル用(17日のみ)

と障害者用の駐車スペースを予め確保した後に参加者に開放します。

(2) 家族旅行村東駐車場(会場まで徒歩3分)

約35台収容可能。未舗装。空き地ですので、整列駐車にご協力ください。

(3) 会場西南の道路脇(会場まで3分から10分)

上記駐車場所が不足した場合、会場西南の二車線道路の脇に一列に駐車していただきます。一台でも多くの車が駐車できるよう、できる限り車間を詰めて駐車願います。

上記以外の場所への駐車は禁止します。周囲への迷惑になりますのでご協力ください。特に以下の場所への駐車は、会場となる駒ヶ根高原家族旅行村を利用される一般のお客様用となりますので、オリエンテーリング参加者が駐車することは固く禁止いたします。

・家族旅行村第一駐車場(ただし団体バスは第一駐車場に停車してください)

・「こぶしの湯」横駐車場

・サマーボブスレー駐車場

※特に駐車券は用意しませんが、なるべく乗り合わせでご来場ください。

※なるべくツアーバスや宿舎からの送迎を利用して下さい。

※駐車誘導員は特に置きませんので、皆様で協力しあって整列駐車してください。

※駐車場、路上駐車における事故や盗難、トラブルについて、主催者は一切責任を負いません。

受付

受付は9月16-18日の間、会場内に開設しています。

学生の方は大学ごとに受付を行います。

一般の方は個人ごとに受付を行います。

クラブカップの受付はチームごとに17日に行います。

学生(インカレロン参加校)

各大学の代表は9月16日のモデルイベント開設中か、9月17日の8:00-9:00の間に受付を行ってください。

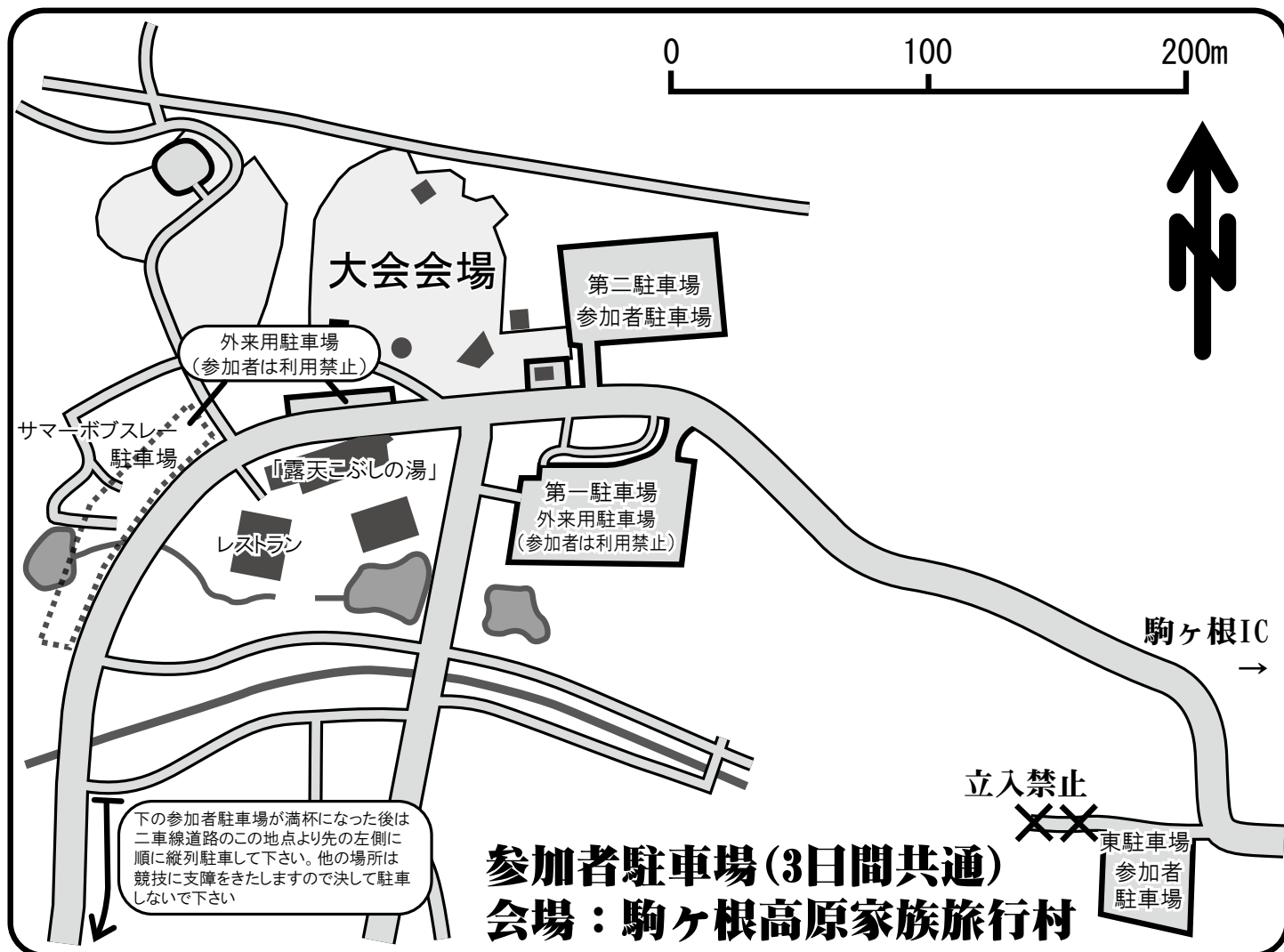
下記の配布物を大学分ごとにまとめて配布を行うので、代表者は受け取ってください。

参加校に所属する選手が駒ヶ根3日間大会のうち最初に参加するレース前まで受付を済ませて配布物を受け取ってください。

その他の参加者

◆事前申込者

会場に配布物が個人別に置いてありますので、セルフ



サービスで受け取ってください。

◆当日申込者

各競技には、若干名の当日参加の受付を行います。受付人数に限りがあります。受付は先着順とします。準備した人数に達した時点で受付を終了させていただきます。

配布物内容一覧

- 1、e-card (事前レンタル申込分)
- 2、e-card用バックアップラベル
- 3、コントロール位置説明表
- 4、ナンバーカード
- 5、大会プログラム (希望者のみ)
- 6、駒ヶ根フリーパス (購入者のみ)
- 7、モデルイベント用地図 (事前申込分)
- 8、インカレロング未帰還者届 (インカレ参加校のみ)

配布物説明

[1] e-card

e-cardを紛失・忘失した人は出走できません。e-cardのレンタルは会場で行っています。

e-cardは少なくとも9月16日(土)に行われるスプリント大会と9月17日(日)に行われるインカレロング大会(併設クラス含む)では共通のものを使用してください。

[2] バックアップラベル

バックアップラベルには、クラス・スタート時刻・氏名が記入されています。バックアップラベルを各自e-cardにはめ込んで使用してください。スプリント競技ではバックアップラベルを使用しません。

[3] コントロール位置説明表

インカレロングのコントロール位置説明表は6×15cmを越えない大きさです。スプリント競技では、位置説明表の長さがこれを超えるコースがあります。

コントロール位置説明表は地図表面にも印刷されています。

コントロール位置説明表への加工と競技での携帯は自由に行ってください。コントロール位置説明表の耐水加工はされていません。

[4] ナンバーカード

インカレロング選手権クラス

ナンバーカードを2枚配布します。

胸と背中の見えやすい位置に水平に1枚ずつ着けてください。

競技中ナンバーカードがはがれないように、ナンバーカード1枚につき6個の安全ピンを使用してください。

その他のクラス

ナンバーカードを1枚配布します。

胸の見えやすい位置に水平に1枚着けてください。

安全ピンは配布しないので、各自で準備してください。

ナンバーカードを付けていない、もしくはナンバーカードが隠れている選手は出走できません。

ナンバーカードは9月16日(土)に行われるスプリント大会と9月17日(日)に行われるインカレロング大会(併設クラス含む)とで共通のものを使用します。

安全ピンは本部で、販売します。

昼食

◆レストラン

大会会場の家族旅行村には、レストランがあります。駒ヶ根名物「ソースカツ丼」はじめ各種メニューが用意されていますので、是非ご利用ください。また、会場脇の「こぶしの湯」にもレストランがあり、入浴者にご利用できます。

◆弁当

参加者の皆様に弁当の予約販売を行います。

1個 700円

申込は以下までお願いします。

9月13日までに下記アドレスへお申込みください。

orienteering@nta.co.jp

受け渡しは、当日会場にて日本旅行係員よりお渡しいたします。弁当と引き換えに代金をお支払い下さい。

こぶしの湯(温泉)の入浴

会場脇にある温泉「こぶしの湯」が割引価格で利用できます。温泉の受付で、プログラムまたは駒ヶ根フリーパスを提示の上、入浴料をお支払いください。

入浴料 500円(通常600円)

大会当日は連休中ということで、多くの一般利用者がおられます。譲り合ってください。また、**建物内を泥なので汚すことが決して無いよう、外の水道で洗うなど十分な配慮をお願いします。**一昨年の大会終了後、こぶしの湯建物内が、**大変汚れていました。**今回は決してこの様なことが無いよう心がけてください。

傷害保険

本大会では普通傷害保険(行事参加者の傷害危険担保特約条項付帯)に加入しています。

(引受保険会社:AIU保険会社)

保険適用期間 2006年9月16日~18日

対象 大会会場、及びオリエンテーリング競技中の偶然な事故による大会参加者のケガ(但し、約款等で規定された適用外の事故を除く)

保険金額(1名あたり)

死亡/後遺障害:250万円

(後遺障害保険金は後遺障害の程度に応じて死亡・後遺障害保険金額の3%~100%)

入院(日額):3,000円

通院(日額):2,000円

この傷害保険についての問い合わせ、保険金の請求先は以下の通りです。

AIU保険会社代理店

株式会社東京セントラル 担当:仲山

TEL:03-3364-1717 FAX:03-3364-6324

参加者は、開催地までの移動時の事故等に備えて、各自で国内旅行保険に加入することをお勧めします。

500～1000円程度で各旅行会社、保険会社等で取り扱っています。

駒ヶ根フリーパス

今大会では、駒ヶ根におけるオリエンテーリングを満喫してもらうために、フリーパスを発行しました。

受取方法

大会当日受付でお渡しします。

適用範囲

全ての個人競技です。原則、事前エントリーでのみの利用ですが、当日参加枠にあまりがある場合には、事前にエントリーしていない競技にも参加可能です。当日参加の申込時にフリーパスを提示していただければ、無料で競技に参加できます。

その他

フリーパスは、「こまくさの湯」への入浴料金の割引証にもなります。風呂の受付でフリーパスを提示頂ければ、入浴料が100円割引になります。

ストリーマ（誘導テープ）の色

◆赤白ストリーマ

競技中の全ての誘導箇所を利用して利用しています。全ての競技者は必ずストリーマによる誘導にしたがってください。

◆青黄ストリーマ

競技者による立入禁止を明示するために、会場周辺、テレーン内で利用しています。但し、地図には書かれていない箇所、地図上でのみ立入禁止を明示している箇所もあります。大会参加者は必ずルールを守ってください。

◆黄ストリーマ

インカレロングにおける会場からスタート地区への誘導に利用しています。

ご案内

本大会で利用しているストリーマは全て国産品です。従来のものより、耐久性は変わらずに軽量コンパクトな仕様となっています。大会本部で特別価格で販売いたします。

競技中止の可能性について

基本的に長野県南部に気象上の警報が発令された場合には、大会を中止します。

本年7月に長野県南部を襲った集中豪雨の際、テレーン内部の川が大増水して非常に危険な状態となりました。雨が止んだあとも数日危険な状態が続きました。テレーン背後にある中央アルプスの山塊から次々と水が供給されたためです。テレーンにある林道も行政当局より立入禁止の措置が取られました。普段の天気では、この川は競技で楽に横切ることができるほどの水量でした。

本テレーンでは地形の特性上、大会当日はたとえ快晴であっても、大雨の後にはテレーンへの立ち入りが危険である場合が想定されます。テレーンへの立ち入りが危険であると判断される種目については競技を中止します。

その点ご了解下さい。

競技中止・対処方法についての案内方法

◆大会公式ウェブサイト

◆大会公式掲示板

本件についての問い合わせ

◆各競技の問合せ先までお願いします。

気象情報

		2005年	2004年	2003年	2002年	2001年
9月16日	平均気温(℃)	19.0	19.3	20.4	16.3	22.1
	最高気温(℃)	26.1	25.4	27.9	17.8	27.5
	最低気温(℃)	13.3	15.3	14.5	14.9	17.5
	降水量(mm)	0	0	0	8	0
9月17日	日照時間(時間)	8.2	9.2	9.7	0.0	6.0
	平均気温(℃)	19.5	19.7	21.7	18.1	22.2
	最高気温(℃)	26.6	26.1	28.2	20.1	27.9
	最低気温(℃)	14.3	16.1	16.9	16.3	18.4
9月18日	降水量(mm)	0	0	0	14	0
	日照時間(時間)	6.9	2.9	9.7	0.0	6.4
	平均気温(℃)	20.0	20.0	21.2	17.6	21.5
	最高気温(℃)	29.2	26.5	28.6	22.3	28.1
9月18日	最低気温(℃)	14.4	17.6	15.9	14.4	16.3
	降水量(mm)	0	2	0	0	0
	日照時間(時間)	10.6	1.3	8.7	9.7	8.3

開催地よりほぼ南に10kmほど離れた飯島町の観測データです。なお、上記の気象データは、気象庁のデータベースを基に作成しています。

キッズO

3日間ともキッズOがあります。開催時間は概ねその日のメイン競技の受付開始時刻からゴール閉鎖時刻までです。キッズO用の特製地図（スプリント競技用ISSOM規定地図を拡大）を使用しますので、奮ってご参加ください。

競技形式

ポイントOまたはフリーポイントOです。

通過証明

地図に印刷されている指定のらんに、各コントロールに置いてあるシールを貼り付けてきます。

参加方法

当日申込のみです。本部横のキッズO受付にお越し下さい。

参加費 1人200円

駒ヶ根フリーパスの対象です。受付時にご提示頂ければ無料です。

表彰・参加賞

表彰はありませんがお子様には参加賞があります。

その他

大人の参加も大歓迎、それなりの難しさ楽しさを持ったコースを提供します。但し、地図が無くなりそうになったら、お子様優先とさせていただきます、無くなり次第終了させていただきますことがあります。

e-card

◆電子パンチングシステムの概要

本大会では、EMIT社製の電子パンチングシステム

(Electronic Punching and Timing system)を使用します。電子パンチングシステムでは、競技者が手に持って走る e-card と、e-card を起動するためのユニット（スタートユニット）と、コントロールにおいて記印を行うためのユニット（コントロールユニット）を用います。

スタートユニットに e-card をはめ込むと e-card が動作し始め（この動作をアクティベートと呼ぶ）、正常に動作している場合にはスタートユニットについているランプが赤く光ります。

コントロールユニットは固有の番号をもっており、アクティベートした e-card をはめ込むことにより、この固有の番号を e-card が読み取り、e-card に記録されます。また、e-card には時計が内蔵されており、アクティベートと同時に計時を開始し、コントロールユニットの固有の番号と同時に、コントロールユニットにはめ込んだ時間も記録されます。

これらの記録されたデータをフィニッシュ後に読み取り、通過証明を行います。

e-card は、機械であるため途中で故障する可能性があります。故障しても通過証明を行えるように、e-card にはバックアップラベルが付いています。

コントロールユニットにきちんとはめ込んだときに、バックアップラベルに穴が空くような構造となっています。（穴の位置によってどのコントロールか判別する）

◆ e-card 使用上の注意点

e-card の加工、書き込みなどは認めません。このためコントロール位置説明表を携帯する場合は、ビニール袋、コントロールカードケース等を利用してください。

アクティベートを行っていない場合、一切の記印が記録されないため、スタートユニットでは各人でランプが点灯することを確認してください。ランプが点灯しない場合には役員に届けてください。

e-card が適切に動作していなかった場合でも、バックアップラベルでコントロールの通過を確認しますので、バックアップラベルも紛失しないように十分注意してください。e-card の紛失・忘失は失格となります。

e-card の電子記録によって正しくコントロールを回っていることが証明される限りにおいて、バックアップラベルを紛失しても失格とはなりません。

バックアップラベルにも記印を行うため、e-card をコントロールユニットにきちんとはめ込んでください。

スタートユニットにはめ込むと、以前の記録は消去されるため、競技開始後は決してスタートユニットに近づけないようにご注意ください。

my e-card 使用者は必ず申込み時点で申請した ID 番号の e-card を使用してください。申請したものと異なる e-card で出走した場合、失格となります。

やむをえない理由で使用不可能となった場合、e-card の会場レンタルを利用してください。

◆コントロールで間違った記印をした場合の対処方法

同じ番号のコントロールで続けて 2 回以上パンチした場合は最初のパンチのみが記録されます。パンチに不安がある場合は 2 回以上パンチしても問題ありません。

途中で間違ったコントロールのパンチが記録されていても正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認めます。従って、間違ったコントロールでパンチした場合でもそのまま正しいコントロールに行き行ってパンチしてください。

【例 1】 7→8→9 と行くべきところ、8 を飛ばして 9 をパンチした場合
⇒そのまま 8 に戻ってパンチをし、再び 9 をパンチしてください。

【例 2】 7 の次に 8 に行くべきところを他のクラスのコントロール X でパンチした場合
⇒そのまま 8 に行き行ってパンチしてください。

e-card の配布 / 回収方法

◆配布方法

一般参加者の e-card は受付で個別にセルフサービスで配布します。（専用ポケット利用）必ず自分の名前が書かれた e-card を持って行って下さい。クラブカップにのみ参加する方の e-card はチームごとにまとめて配布致します。また、インカレロングに参加する学生の e-card も大学ごとにまとめて配布致します。代表者の方は受付にて受け取って下さい

◆回収方法

レンタルした e-card は駒ヶ根 3 日間イベントの期間中同じものを使用します。最終日のクラブカップにチームで参加する方は、チームごとにまとめて本部に返却して下さい。クラブカップに参加しない大学は、インカレロングの競技終了後、水洗いをして配布されたときの袋に入れてまとめて本部に返却して下さい。

16 日、17 日のみ参加の方は競技終了後、水洗いをして本部・受付脇の専用ポケットに返却して下さい

◆紛失・破損した場合

e-card を紛失若しくは破損した場合、弁償金（5000 円）を徴収します。競技中の事故で破損した場合にはその限りではありません。

ドーピング

本大会では全ての競技においてドーピング検査は行いませんが、世界選手権ではもちろん、多くの国内外の大会においてドーピング検査が行われるのが当たり前となってきています。インカレなど選手権を競い、世界での活躍を目指す選手は特に意識を持っていて欲しいと思います。禁止薬物は、通常の医薬品として薬局で市販されている物の中にも多数含まれています。無意識のうちにドーピング違反を犯してしまう可能性もあります。

また、それ以外の一般競技者においても、スポーツ愛好家として、意識をしてくれると幸いです。

問い合わせ、詳細は以下まで

日本オリエンテーリング協会アンチ・ドーピング委員会

委員長 藤井範久 nfujii@taiiku.tsukuba.ac.jp

財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

<http://www.anti-doping.or.jp/>